

1. セッション名

革新的衛星技術実証 2 号機・3 号機

2. オーガナイザ氏名、所属

代表	氏名	所属
○	金子 豊	JAXA 研究開発部門
	藤本 圭一郎	JAXA 研究開発部門
	梯 友哉	JAXA 研究開発部門

3. 概要

イプシロンロケット 5 号機により打ち上げられる計画である革新的衛星技術実証 2 号機について、JAXA と各実証テーマ提案 6 機関（ソニーセミコンダクタソリューションズ、多摩川精機、天の技、MELCO、東北大、JAXA）が開発する小型実証衛星 2 号機の衛星バス・搭載実証テーマ、超小型衛星 4 機、キューブサット 4 機の軌道上実証試験内容と開発状況を紹介します。

また、来年度の打上げに向けて開発中である革新的衛星技術実証 3 号機について、JAXA と各実証テーマ提案 7 機関（NTT、NEC、MELCO、Pale Blue、先端技術研究所、アクセルスペース、サカセ・アドテック）が開発する小型実証衛星 3 号機の衛星バス・搭載実証テーマ、超小型衛星 3 機、キューブサット 5 機の軌道上実証試験内容と開発状況を紹介します。

革新的衛星技術実証プログラムで取り組む軌道上実証は、JAXA が文部科学省・経済産業省からの依頼に基づき、国内の宇宙産業基盤の強化などを目的として実施するものである。宇宙利用・科学の高度化・低コスト化などに必要な技術として新たな部品・機器などを開発しても、宇宙での実績が無いことを理由に商用化や宇宙での利用が進まないといった現状を改善するための活動である。本施策を、革新的なアイデアや新技術を持った宇宙科学連合講演会の参加者に広く告知し、今後の本施策の利用に結び付けること、また、参加者に宇宙で実証する機会があり開発する技術の意義価値を高める場があるということを確認してもらい、宇宙科学技術をより活性化させることを狙っている。